

第58年度 D.2610 ROTARY CLUB OF KOMATSU



小松ロータリークラブ会報

■会長：中川 公三 ■幹事：嶋田俊一郎 ■副会長：西沢 耕一 ■会長エレクト：中橋 勝美

2012～2013年度 国際ロータリーテーマ

奉仕を通じて平和を

Peace Through Service

「蒲郡RC創立40周年記念式典に参加して」

幹事 新谷紀栄



平成6年3月25日、午前11時より、通算200回の例会日を重ねて、創立40周年を迎えた蒲郡RCの記念式典はここ、蒲郡市民会館・東ホールにて総数180名余の人達を集めて催された。春というのに前日から冬型の天候で、突風も吹く寒い一日が始まりました。

しかし私と先輩パスト会長の上杉さんは前日の蒲郡クラブの皆様の熱いもてなしで心も暖まっているせいか元気に宿を立ちました。出迎えの志賀幹事の先導で当会館へ到着、蒲郡クラブの会員の皆様と入口にて記念写真そして受付を済ませ、控室にて一服、少しして我が徳田会長と法師姉妹クラブ交流委員長が見えました。式典開会までのひと時、同じ姉妹クラブの台湾、基隆南RCの会長、パスト会長及びその夫人、4名と友情の握手で寛いだ次第です。開会のアナウンスの後、来賓及び招待者（約50名）を蒲郡クラブの会員及び夫人全員が整列の上歓迎の拍手の中広い会場へ入場しました。最初に目にやきついたのは壇上の正面には、蒲郡の新しいシンボルヨット、アメリカズカップの日本丸のセイル（帆）が舞台いっぱいに羽を広げ、中央に日の丸とロータリー旗をそして40周年記念の大文字がセイルとマッチしてく

きりと清楚に栄えてすごく印象的でした。記念式典に入り、感動的だったのは、未来への展望として、躍動感あふれる日本丸の活動報告、物故



会員の過去の記録紹介、記念事業の経過と紹介、アトラクションの演奏風景等々、舞台の半分の大きさのビデオモニターの迫力ある映像を参加者に訴えていた事でした。

今回特に印象に残った事は、記念事業の内、「描かれた蒲郡」-郷土の風景画展を催された事でした。我が愛する蒲郡のすばらしさを絵画を通して市民全体に披露された事でした。ハードからソフトの時代に合った心憎い事業と感ぜられました。著名な作家の描いた作品、36点を別会場（蒲郡市博物館ギャラリー）にて一堂に集めたものです。

そしてもう一つ印象的だったものに本会場（記念式典と記念祝賀会）と別会場（絵画展）のうまい使い方であったように思われます。本会場から別会場への移動と絵画展のテーブルカット、そして鑑賞と約一時間の間合を上手に祝賀会の準備に当てていた事でした。

祝賀会に入りお酒も飲む程に酔いが廻り、アトラクションの軽快なトロンボーンとヴィブラフォンの音色が心地良い響きとなりました。そして閉会のメインイベント「手につないで」では会場一杯に手を広げ、今日一日のすばらしかった思い出を胸に力のかぎり声を出して満足感に浸った次第でした。前日に着いた上杉さんと私は蒲郡RCの皆様の熱い友情で前夜祭として大変な歓待を受けました。その一夜の持て成しが一生忘れえぬものとなった事を小松クラブの皆様にご報告申し上げます。最後に蒲郡クラブと小松クラブの末永いお付き合いを念じながら筆をおきます。

小松ロータリークラブ 会報 (1994年3月30日 第15号)

小松ロータリークラブ あの日あの時



事務局 〒923-0957 石川県小松市本折町33 小松グランドホテル2F
 TEL.0761-24-1340・FAX.0761-24-4700
 E-mail:office@komatsu-rc.jp URL:http://komatsu-rc.jp/
 クラブ会報委員会〈委員長〉数左 従光〈委員〉斉藤 浩・道上 宗雅